

第57回

宮城県精神保健福祉大会

〈研究協議会〉 10:30~12:00

テーマ：いのちを守り、つなぐ

国の定める自殺対策の指針である自殺総合対策大綱では、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すために、生活困窮や孤立等の「生きることの阻害要因」を減らし、信頼できる人間関係等の「生きることの促進要因」を増やして、社会全体の自殺リスクを低下させることをうたっています。今回は、生きるための支援に取り組む方々からお話をいただきながら、自死予防に関する視野を広げ、理解を深めます。

座長：林 みづ穂 氏（仙台市精神保健福祉総合センター所長）

話題提供者：土井 浩之 氏（土井法律事務所弁護士）

安藤 貴志 氏（宮城県南部自立相談支援センター所長）

高橋 正佳 氏（国見・千代田のより処 ひなたぼっこチーム長）

〈特別講演〉 13:15~15:00

テーマ：多様な性のあり方を理解し、つながる

LGBT（性的マイノリティ）の方々はその多くが悩みや生きづらさを抱え、メンタルヘルスのリスクが高いと言われていています。そのため、今回は多様な性についての正しい知識と現状を学び、当事者への理解を深めるとともに今後の課題について考えます。

講師：山下 梓 氏（国立大学法人弘前大学男女共同参画推進室助教）

小浜 耕治 氏（東北HIVコミュニケーションズ代表・レインボー・アドボケイツ東北代表）

司会：小原 聡子 氏（宮城県精神保健福祉センター所長）

平成30年

日時

11月16日（金）

入場
無料

申込
不要

手話
通訳

会場 仙台市福祉プラザ（仙台市青葉区五橋2丁目12-2）

主催：公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 電話 0229-23-0021